

3 みんなの未来のためのプランー構成と意義ー

▷ Point.....◁

- 行動理念・将来像、7つの重点アクション、推進の仕組み、ロードマップで構成
- 対馬の地域特性や課題、潜在的な可能性を踏まえた対馬版 SDGs 羅針盤

(1)このプランの構成

SDGs アクションプランは、行動理念のもと、対馬の将来像を実現するために重点的に取り組む7つのアクションと3つの土台(第2章)、SDGs をみんなで起こすための仕組み(第3章)、ロードマップ(第4章)によって構成されています。

本文中、できるだけ分かりやすい用語や文書表現を用いるよう努めていますが、解説が必要な用語等は参考資料編の「用語の解説」を参照してください(73 ページ～86 ページ)。

(2)このプランをつくる意義

SDGs には、目標とターゲットがあるのみで、細かいルールはありません。国や地域の多様性が尊重され、将来像やその達成に向けたアクションを自由に考え、それぞれに合った方法で SDGs を進めることができます。取り組みの自由度が高い分、具体的にどのように SDGs に取り組むのか、その方向性や行動、仕組み、ロードマップをみんなで共有するための行動計画がなくてはなりません。その行動計画には、対馬の現状や潜在的な可能性を踏まえ、また、対馬の先を見据えながら対馬の未来を指し示すみんなの羅針盤としての役割が求められます。

このような考え方のもと、このプランでは「誰一人取り残されることなく」いつまでも安心安全に対馬に暮らし続けられるよう、行政だけでなく、市民、家庭、地域団体、学校、企業など全員参加と協働のきっかけとなるような行動を示しています。